

小松ロータリークラブ会報

2023～2024年度 国際ロータリーテーマ



CREATE HOPE
in the WORLD
世界に希望を生み出そう

- ◆ 会長：大畑 清三 ◆ 副会長：橋浦 隆
- ◆ 会長エレクト：澤矢 豊伸 ◆ 幹事：齋藤 典子
- ◆ クラブ会報委員会 委員長：宮城 香織
委員：石田 拓也・名徳 隆嗣・東 昭裕

第7号
2024.2.29

事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 アパホテル<小松ブランド>2F
TEL: 0761-24-1340 FAX: 0761-24-4700
E-mail: office@komatsu-rc.jp
URL: http://komatsu-rc.jp/



ごあいさつ

Rotary 2023～2024年度 小松ロータリークラブ 会長 大畑 清三



1月は「職業奉仕月間」です。ロータリアンの皆さんは「職業奉仕」は難しいと思っていないですか？ロータリーの五大奉仕の中でも職業奉仕は、第二部門と定義づけられており、私たちがあらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくということではないでしょうか。今一度、職業奉仕の意義を理解され、職業奉仕に努めてまいりましょう。

さて、元旦に数千年に一度の大地震が起き、能登半島を中心に震度7強の地震が発生しました。そして石川県はもとより、富山県、新潟県、福井県などに甚大な被害をもたらしました。未だに水道などのライフラインが一部復旧されておりません。まずは、亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、ご遺族と被災された方々にお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を我われ小松RC会員一同、願っております。

1.1大震災が発生したことから1月10日に予定されていた小松3RC新春合同例会は中止となり、小松RCではこの経費の一部を国際ロータリー第2610地区が募集した能登半島地震の義援金に寄付します。また18日の例会では、日本赤十字社石川県支部の表正人事務局長に卓話をしていただき、能登半島地震の被害状況などを聴くことができ、改めて甚大な被害を知ることができました。席上、能登半島地震の義援金を募集したところ12万円が集まり、表事務局長に手渡しました。

25日はカエルデザイン合同会社の川崎朱美子氏を迎えて卓話をしていただき、クリーン・ビーチいしかわの石田禎一事務局長とコラボして海洋プラスチックごみでアクセサリーづくりなどを通して海の環境問題を提起していることが報告されました。

小松RCの協賛事業として、21日には小松市国際交流協会主催の「第12回KIA日本語スピーチコンテスト」に審査員として出席し、「私の目標」と題してスピーチしたベトナム出身のグエンティトゥエントマイさんに小松ロータリークラブ会長賞を手渡しました。31日には小松市選挙啓発書道コンクールの二次審査会に臨み、小学1年生から中学3年生までの85点を審査し、2月29日には9人の児童・生徒に小松ロータリークラブ会長賞を手渡す予定です。



小松RC会長賞を受賞した
グエンティトゥエントマイさん

令和6年能登半島地震(1月1日)により中止

★大畑 清三会長 挨拶・報告

★ゲスト紹介

日本赤十字社石川県支部 事務局長 表 正人様
小松中央ライオンズクラブ 佐々木 均様
小松倫理法人会 会長 生田 真理様

★ビジター紹介

能美RC 小坂 勇治様
小松東RC 平野 純子様・小山 英一様
小松シティRC 山崎 秀雄様・梅田 利和様
井出 優様



日本赤十字社へ義援金の贈呈

●第3309回(2024.1.18)
会員卓話要旨

きずな

あした

絆で創れ小松の明日



表 正人様

日本赤十字社石川県支部
事務局長

【能登半島地震の被災状況と活動】

先週、珠洲市の被災状況を確認した。市が全滅したという感じ。揺れによる倒壊の他、内浦地区は津波、外浦地区は山が崩壊し孤立集落。

1月1日は普段の2倍の人口で、子供や孫が犠牲。誰が来ていたかわからない。最初の揺れで外へ逃げたが、家具の状況の確認に再び戻って被害をうけた人も多い。

【赤十字の活動】

- ①道路アクセス、一般車の通行規制
救援物資は毛布11000枚、マット4200枚など、すべて赤十字ボランティアで搬送。
- ②全国から300人近くの医師や看護師が石川入りし、避難所の健康管理を行う。珠洲では病院負担の軽減のため臨時救護所も設置
- ③珠洲市の孤立集落へ自衛隊とともに到着

【奥能登の課題】

- ①避難所の環境
最初は1000人近くが身を寄せた学校もある。スボセン、サンテンが1.5次避難所。ホテル旅館が二次避難所。希望者全員分の仮設住宅ができるのは、かなりの期間が必要。
- ②仮設住宅
珠洲市、輪島市は各4000戸必要。人口の大部分が仮設。家を建てる余裕がない。残りの人生を仮設住宅と願う人が多い。仮設ではなく希望者全員を受け入れる巨大な終の棲家が望まれている。立地場所もないとのこと。壊滅状態の地域一帯を更地にして行政が借り上げ、希望住民が全員入居できる巨大な被災者公営住宅団地の建設が必要。高齢者サポートセンターの設置。

- ③もともと、農林水産業、観光業、公務員が主たる職業。一部で営業スタートに向けて頑張っている人はいるが、働ける職場が無い。働ける人や引き受ける親族のいる人は金沢方面へ既に移転。残るのは行き場のない老人だけ。行政機能の継続が可能なのか。

【北陸新幹線敦賀開業課題】

金沢では週末の茶屋街、近江町は人の波。この地震で茶屋街、近江町は人の姿が消えた。すぐには無理だが、一段落したあと、真の戦いがスタート。石川の底力を試す良い機会ではないか。

【小松市の魅力】

駅前アーケード街の再生が必要。平日はほとんど歩行者がいない。8割シャッターが閉じる。みよっさは無料でガイドも親切丁寧。立地が悪く、PRが必要。舞台での芸能体験がよいかも。

【観光客との会話】

人との出会い、絆を大切にし、輝く石川を目指して何を行うべきか。私が出会った元気な人たちの思いや活動をお話しし、石川の未来を目指す鍵を探してみたいと思う。できる限り声をかける。自分たちの財産は自分達が全力で守るという覚悟が、新幹線にも必要。

【最後に】

被災地では多くの支援をいただき、僅かですが日々前を向いて歩き始めた。私たち日本赤十字社は、「人間を救うのは人間だ」との考えのもとに、皆さんと手をつなぎながら、苦しんでいる人を救う活動を展開していきます。能登半島地震も必ず乗り越えられます。今、石川の地で、日本の力が試されています。是非、ご支援ご協力をお願いします。主役は皆さんです。

令和6年1月1日。笑顔にあふれた数年ぶりの家族団欒の席が一瞬で地獄と化した。地の底から突き上げられる激震、携帯には恐るべき文字が『震度7』。地獄の数分間の後、非常にも津波が襲い掛かった。

家は全て倒壊、墓石さえも空を飛んだ。まさに戦場の焼け野原。今でも余震は続く。しかし市民は復興を信じて立ち上がった。「泣いとしてもしょうがないわいや。おらっちゃんに出来る事をちょっこりずつでもみんなしてやらんかいや。」

平成19年3月の能登半島地震、我々は全国からの大きな支援を頂き奇跡の復興を成し遂げた。人間の

心が日本の心が一つになれば不可能はない。

我々は今日も小松の地で新たな絆を頂いた。ありがとう。しかし我々の真の戦いはこれからだ。がんばれ小松、頼むぞロータリー。みんなの熱い心で日本の未来に灯りを灯せ。

【紹介者】大畑清三会員

例会報告

第3309回 2024.1.18(木) アパホテル<小松グランド>
会員数 48名・出席数 29名・欠席数 19名・出席率 60.42%

★メイクアップ届

1/10 緊急諮問委員会 湯浅

ニコニコBOX

能美RC 小坂勇治様

小松東RC 平野純子様、小山英一様

小松シティRC 山崎秀雄様、井出 優様

大畑清三、澤矢豊伸、橋浦 隆、齋藤典子、中田一於
南井浩昌、上原邦弘

第3310回 2024年1月25日 例会

アパホテル<小松グランド>

★大畑 清三会長 挨拶・報告

★ゲスト紹介 カエルデザイン合同会社

業務執行役員 川崎朱美子様

クリーン・ビーチいしかわ

事務局長 石田 禎一様



石田 禎一様

●第3310回 (2024.1.25) 会員卓話要旨

よりよい未来にカエル



川崎朱美子様

カエルデザイン合同会社
業務執行役員

カエルデザイン合同会社は、障害を持った人達と、廃棄物をデザインやアイデアで新たな商品に変え、社会や環境をより良い方向に変えることを目的として活動しています。「誰一人取り残さない社会」をビジネスの仕組みで解決できるようチャレンジしています。主な商品に海洋プラスチックアクセサリがあります。

既に私達は1週間にクレジットカード1枚分のプラスチックを食べていると言われています。美味しい海産物豊かな石川県の海岸線を昨年見て回りましたが、どこもプラスチックゴミがいっぱいでした。

アップサイクルした海洋プラスチックアクセサリは資源を循環させるだけでなく、アクセサリを通して環境問題をお伝えしたり、海岸清掃する人達を増やすことができます。

続ければきっとより良い未来になることを信じこれからも活動を続けます。



【紹介者】名徳隆嗣会員

例会報告

第3310回 2024.1.25(木) アパホテル<小松グランド>
会員数 48名・出席数 31名・欠席数 17名・出席率 64.58%

★メイクアップ届

1/19 職業アドバイザー派遣推進事業(丸内中学校) 名徳

1/24 第2回緊急諮問委員会 湯浅

1/30 職業アドバイザー派遣推進事業(安宅中学校) 川本

ニコニコBOX

大畑清三、徳田八十吉、橋浦 隆、澤矢豊伸
齋藤典子、中橋勝美、名徳隆嗣

小松RCでは、青少年育成事業の一環として小松市内全23校の小学校および義務教育学校の図書購入費として、2014年度から育英金として会員から募り、小松市教育委員会に寄付をしています。

2022～2023年度の育英金は1月11日、徳田八十吉直前会長が石黒和彦教育長を訪ね、23万円の目録を手渡しました。

図書購入費を寄付
小松RC、市教委に
小松ロータリークラブ
(RC)の徳田八十吉直前
会長は11日、小松市役所を
訪れ、市教委に小学校の図
書購入費23万円を寄付し
た。
寄付は2014年度から
青少年育成事業の一環とし
て続けられている。小学校
22校と義務教育学校1校に
各1万円が贈られ、購入図
書に「ロータリー文庫」と
表示される。石黒和彦教育
長が徳田氏に感謝状を手渡
した。



北國新聞朝刊(令和6年1月12日付)

職業アドバイザー派遣推進事業

1月19日(金) 小松市立丸内中学校

1月30日(火) 小松市立安宅中学校

小松RCでは、2015年から市内の中学校に職業アドバイザーを派遣しております。1月は丸内中学校へ3人、安宅中学校へ4人、会員企業などから講師を派遣して職業講話をしました。

丸内中学校

- | 【アドバイザー】 | 【企業名】 |
|----------|----------|
| ・西 功太郎氏 | (株)丸西組 |
| ・千代 彩乃氏 | こぼと保育園 |
| ・高崎 涼斗氏 | 北陸銀行小松支店 |

安宅中学校

- | 【アドバイザー】 | 【企業名】 |
|----------|----------------|
| ・川本 樹会員 | 小松かがやき法律事務所 |
| ・橘 宗希氏 | コマニー(株) |
| ・室谷みち代氏 | 北陸エアターミナルビル(株) |
| ・川崎 順子氏 | 介護老人福祉施設 松寿園 |

丸内中学校



西 功太郎氏



千代 彩乃氏



高崎 涼斗氏

安宅中学校



川本 樹会員



橘 宗希氏



室谷みち代氏



川崎 順子氏



1月誕生祝い

- 5日 数左 従光会員 14日 上原 邦弘会員 20日 本村 公志会員
26日 松多 伸悟会員

ニコニコBOXの年間達成目標 2,000,000円 ニコニコBOX1月末の累計金額 904,900円